

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第7部門第3区分

【発行日】平成25年2月14日(2013.2.14)

【公開番号】特開2011-142486(P2011-142486A)

【公開日】平成23年7月21日(2011.7.21)

【年通号数】公開・登録公報2011-029

【出願番号】特願2010-1735(P2010-1735)

【国際特許分類】

H 04 N 5/235 (2006.01)

G 03 B 7/28 (2006.01)

G 03 B 15/00 (2006.01)

【F I】

H 04 N 5/235

G 03 B 7/28

G 03 B 15/00 Q

【手続補正書】

【提出日】平成24年12月25日(2012.12.25)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0019

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0019】

【図1】この発明の基本的構成を示すブロック図である。

【図2】この発明の一実施例の構成を示すブロック図である。

【図3】図2実施例において参照される一般辞書の構成の一例を示す図解図である。

【図4】ペット登録モードにおいて参照されるレジスタの構成の一例を示す図解図である。

【図5】(A)はペット登録モードにおいてマルチ測光に対応して捉えられた動物を表す画像の一例を示す図解図であり、(B)はペット登録モードにおいて中央重点測光に対応して捉えられた動物を表す画像の一例を示す図解図である。

【図6】ペット登録モードにおいて捉えられた動物を表す画像の一例を示す図解図である。

【図7】評価エリアを撮像面に割り当てた状態の一例を示す図解図である。

【図8】(A)はペット登録モードにおいて作成された抽出辞書の一例を示す図解図であり、(B)はペット登録モードにおいて作成された抽出辞書の他の一例を示す図解図である。

【図9】ペット撮像モードにおいてモニタ画面に表示された登録ペット画像の一例を示す図解図である。

【図10】図2実施例に適用される補正回路によって参照される補正曲線の一例を示すグラフである。

【図11】(A)は標準の曲率を有する補正曲線を参照して調整された色調を有する動物画像の一例を示す図解図であり、(B)は強めの曲率を有する補正曲線を参照して調整された色調を有する動物画像の一例を示す図解図である。

【図12】撮像用顔検出タスクにおいて用いられる顔検出枠の一例を示す図解図である。

【図13】撮像用顔検出タスクにおける顔検出処理の一部を示す図解図である。

【図14】ペット撮像モードにおいて捉えられた動物を表す画像の一例を示す図解図である。

【図15】ペット撮像モードにおいて捉えられた動物を表す画像の他の一例を示す図解図である。

【図16】図2実施例に適用されるCPUの動作の一部を示すフロー図である。

【図17】図2実施例に適用されるCPUの動作の他の一部を示すフロー図である。

【図18】図2実施例に適用されるCPUの動作のその他の一例を示すフロー図である。

【図19】図2実施例に適用されるCPUの動作のさらにその他の一例を示すフロー図である。

【図20】図2実施例に適用されるCPUの動作の他の一部を示すフロー図である。

【図21】図2実施例に適用されるCPUの動作のその他の一例を示すフロー図である。

【図22】図2実施例に適用されるCPUの動作のさらにその他の一例を示すフロー図である。

【図23】図2実施例に適用されるCPUの動作の他の一部を示すフロー図である。

【図24】他の実施例に適用されるCPUの動作の一部を示すフロー図である。